

〇〇 元気をよくするアロマ隊 登録メンバーの活動 〇〇

活動団体名	アロマ&タッチ
代表者（居住地 / 職業）	山口 由紀（東京 / アロマセラピスト）
主な活動場所・エリア	主に東京都内でのチャリティーイベント
活動時期	2011年 8月11日 イグナチオ教会（四谷） 9月11日 ニコラパレ（四谷の修道院） 10月4日・13日 訪問ボランティア 11月3日 神谷町 聖アンデレ教会 12月4日 イグナチオ教会（四谷） 2012年 2月11日 聖心女子大学（広尾） 3月11日 ニコラパレ（四谷の修道院）
主な活動内容 / 対象者	チャリティーイベント会場での、ハンドマッサージやアロマクラフト。個室でのボディトリートメント。 避難先（ホテル、住居など）への訪問トリートメント。 対象は都内で避難生活を送る被災者
アロマボランティアに参加したのべ人数	約 37名
アロマボランティアを受けたのべ人数	約 96名
主な連携・協力先	とすねっと： http://blog.goo.ne.jp/tossnet きらきら星ネット： http://kirakira.my-sv.net/ (株)ニールズヤードレメディーズ（資材提供）： http://www.nealsyard.co.jp

■ 活動のきっかけ

2011年8月に都内で避難生活を送る世帯の支援を行う“とすねっと”（東京災害支援ネット）とつながる。その後、とすねっとを中心に発足した“きらきら星ネット”のメンバーとなる。主に、月1回のチャリティーに7名前後のアロマセラピスト（チーム名“アロマ&タッチ”）で、トリートメントを実施中。

● 「きらきら星ネット」団体概要

東日本大震災や東京電力福島第一原発事故によっておもに東京に避難してきた避難世帯とともに生きていこう、かかわっていこうという思いをもち、実際に活動しようと集まった人たちによって構成される草の根の団体。中心メンバーは、弁護士、税理士、司法書士、教会関係者などで、大学教員、大学生、臨床心理士、看護師、などいる。山口もアロマセラピストとして参加。

■ 活動の方針/工夫など

避難世帯は母子が多いのが特徴（夫は仕事のため被災地に残る）。そのため、母親のケアが中心。こどもの健康、学習環境、夫と離れて暮らす不安、経済的不安などいつまで続くかわからない避難生活のストレスを1人で抱えている場合が多い。また、避難後初めての出産をし、1人で乳児を抱えている女性や 介護の必要な老親と小さな子供を抱える女性もいる。

アロマケアでは 気分転換と心地よいタッチングで疲労感を和らげること、話し相手であることを大事にしている。人気のある精油は 檜、オレンジ、ラベンダー。特に、檜は、会話の糸口になりやすく、精油に興味をもたれる方も多い。肩や頭が疲れているという方が多いので、ハンドトリートメントに着衣での背中タッチングケアとヘッドトリートメントを加えて好評。母親の他、こどもや、週末だけ妻子に会うために被災地から来る男性の利用もある。また、個室で

行うボディトリートメントは女性のみ利用可能で、セラピスト個々のやり方で、ご要望をきいて施術。利用者はリピーターが多い。

指定区域以外からも子供のために自主避難してきた世帯もある。そのため、“なぜ逃げるのか”と被災地で生活続ける人達から、非難されていると感じている。また東京でも、被災地から避難してきている事をあまり知られたくない様子もみられる。実は、私も“東京で避難生活を送れるのだから、結構経済的余裕があるのではないかと、もっと大変な人達はいっぱいいるのではないかと、”という思いが当初あった。しかし、こういう視線こそが避難者の方々を傷つけ疲弊させるのだろう。避難者の方々は好んで避難生活を送っているのではなく、避難を選択したことで変わってしまった人間関係など、特有のストレスがある。“困難は比較されるものではない”ことや、“誰でもが支援をうけられる”ことが大事だろう。

きらきら星ネットでは、法的な支援の他、避難世帯からの要望を汲み上げて対応している。こどもたちへの学習指導、習い事支援（教会他を会場とし、ボランティアが教える。ピアノ、英語、受験生の家庭教師をコーディネート）、遊び場の解放など。母子が離れてそれぞれが充実した時間をすごせる工夫をしている。母親たちとボランティアと一緒に手芸で活動資金を作ったり、チャリティーの事前準備を共に行う活動もある。

■ これからの活動目標や予定など

母子ケアの持続。チャリティーの参加。訪問ケアは希望があれば、きらきら星ネットと連携して検討。セルフケアのサポート、集いに来られない方々へきらきら星ネットを通してのケア（スプレーやクリームを送るなど）。チャリティーの頻度が少なくなってきたので、避難者の方々との共同作業やお茶会、こどもの遊び場の見守りなどへ参加しながら、その場で臨機応変にトリートメントもできるよう、小さい活動を増やして行きたい。避難者の方は“自分たちも被災地支援をしたい”という要望があるので、共に考え行動したい。避難生活が終るまで、共にいることを大事にしたい。また、アロマ&タッチの活動できらきら星ネットの活動資金を集める事も考えてみたい。

■ 写真（2011年11月3日のチャリティーイベント）



代表者（居住地 / 職業）	関 淑恵（仙台 / アロマセラピスト）
主な活動場所・エリア	被災地の避難所、仮設住宅（宮城県名取市、宮城県松島町、宮城県東松島市）
活動時期	避難所での活動（2011年3月31日～7月 全11回） その後はチャリティーイベントなどに参加
主な活動内容 / 対象者	被災地（宮城県松島町）の避難所でのアロマボランティア活動 アロマクラフトワークショップ、アロマクラフト提供など
主な連携・協力先	日本アロマコーディネーター協会
URL など	http://ameblo.jp/sendai-arome/

〇〇 元気をよくするアロマ隊 登録メンバーの活動 〇〇

代表者 (居住地 / 職業)	ラテル 真紀 (東京都 / ビューティーセラピスト・日替わりカフェ店主・インド料理インストラクター)
主な活動場所・エリア	石巻、埼玉の避難所、宮城県名取、都内での震災ボランティア交流会など
活動時期	2011年4月～ 継続中
主な活動内容 / 対象者	参加できるタイミングでアロマトリートメントの提供 サロンでのチャリティーメニューを義援金に（期間限定で実施） チャリティーイベントへの参加 など
URL など	http://ameblo.jp/coccinellecoco/

■ 活動のきっかけ

実家が宮城県で震災後帰省した際に、石巻にボランティアに行きました。泥だしや瓦礫の撤去、避難所を回りアロマセラピーで半身オイルトリートメントをしたことがきっかけです。

■ 活動の方針/工夫など

東京・中野で定期的に行われている《震災ボランティア交流会》に参加し、活動を発表したり、今後の活動支援を考えながら活動を継続しています。

(これまでの主な活動)

- ・ 埼玉県の加須市で、ケアチーム「Vivat」福島県双葉町被災者ボランティアに参加。（ハンドトリートメント）
- ・ 2011年12月に別のグループで宮城県の名取で活動。（メークさん・ネイリストさん・美容師さんたちのグループ）
- ・ アロマ*エステサロンで、売り上げを義援金にあてるチャリティーメニューを期間限定で実施。

活動団体名	チーム VIVAT
代表者 (居住地 / 職業)	磯谷 佐和子 (埼玉 / アロマセラピスト)
主な活動場所・エリア	埼玉の避難所
活動時期	2011年7月5日～ 継続中
主な活動内容 / 対象者	福島県原発事故により被災されて、埼玉県加須市の旧騎西高校に避難されている福島県双葉郡双葉町住民の方へのアロママッサージのボランティア活動
主な連携・協力先	NPO 法人ホリスティックアロマセラピー協会 英国 IFA アロマセラピー協会
URL など	http://ameblo.jp/holisticareroomsawa

■ 活動のきっかけ

突然の原発事故によって強制的に故郷に戻れないことからくるストレス、数か月に及ぶプライバシーのない生活、決して快適とは言えない居住環境、今後どれくらい避難生活が続かわからないことに対する不安などにより、住民の方は心身に対して計り知れないほど過度の負担がかかっている状態にあります。そのため、肩こりや腰痛などの身体症状の他にも、睡眠障害や精神疲労などの症状を訴える方が多く、また、高血圧やがんなどの病気をされている方も少なくありません。

そのような方々に対して、アロママッサージでストレスや心身の負担を軽減し、元気を出していただければという願いから、ボランティア活動を開始しました。

〇〇 元気をよくするアロマ隊 登録メンバーの活動 〇〇

代表者 (居住地 / 職業)	西川 江里子 (埼玉 / アロマセラピスト・「salon&school komorebi」主宰)
主な活動場所・エリア	大船渡、釜石、大槌
活動時期	2011年12月 大船渡市仮設住宅 2012年5月 釜石、大槌 仮設住宅集会所、2012年6月 釜石、大槌
主な活動内容 / 対象者	手浴体験、よく眠れる「香り袋 (ポプリ)」作り、アロマ入浴剤作り、肩こりバーム、エアフレッシュナー、ハーブティーでお茶っこ など
アロマボランティアに参加したのべ人数	約 1 名 + グリーンアースキャラバン2名
アロマボランティアを受けたのべ人数	約 80 名
主な連携・協力先	遠野まごころネット、バイオディーゼルのアドベンチャー (グリーンアースキャラバン)、JAA アロマコーディネーター協会、アロマ&ライフ
URL など	http://ameblo.jp/komorebi-iro/ 、 http://komorebi-iro.com

■ これからの活動目標や予定など

東北の暮らしに根づいた「お茶っこ」などを取り入れながら、仮設住宅の集会所などで活動をしています。被災者の皆様自身が、ご自分で最も心地よいと感じるセルフケアをしていけるようにお伝えしていく活動を重ねています。復興支援は簡単ではありませんが、被災地のニーズを自分なりに考えながらこれからも継続していきたくと考えています。

■ 写真



代表者 (居住地 / 職業)	水石 淳子 (山梨 / アロマセラピスト)
主な活動場所・エリア	宮城県 東松島市、南三陸町など
活動時期	2011年9月～継続中
主な活動内容 / 対象者	仮設住宅の集会所などでのアロマトリートメント、物資支援 など

■ 活動のきっかけ

出身地の宮城県東松島市を2011年9月に訪問。仮設住宅集会所で、アロマトリートメントを提供しました(約20名)。

(これまでの主な活動)

11月28日、東松島市の親類の家を借りて、主婦5名に全身トリートメント。

29日・30日、南三陸町志津川中学校の仮設住宅集会所など。背中・肩・ヘッド・リフレ・フェイシャルなどカウンセリング後に希望される部位をトリートメント。

ハンドクリームなどのクラフトを作成して日頃のケアに使ってもらえるように提供。

〇〇 元気をよくするアロマ隊 登録メンバーの活動 〇〇

活動団体名	からだと心のほぐし隊
代表者（居住地 / 職業）	猪股 佳子（仙台 / アロマセラピスト）
主な活動場所・エリア	被災地の避難所
活動時期	2011 年 ① 4月22日 石巻市立飯野川中学校（避難所：体育館） ② 4月27日 東松島市上町学校（避難所） ③ 5月11日（水） 気仙沼市立小泉中学校（避難所：体育館） ④ 5月11日（水） 石巻市立飯野川中学校（避難所：体育館） ⑤ 6月3日（金） 福島・国立那須甲子（なすかし） 青少年自然の家（避難所） ⑥ 6月22日（水） 宮城・東松島市室浜公民館（避難所）
主な活動内容 / 対象者	水道やガスが復旧 していない時期に避難所に入り、フットバス、アロマトリートメント、 指圧を提供。対象は避難者。
アロマボランティアに参加したのべ人数	約 30 名
アロマボランティアを受けたのべ人数	約 130 名

■ 活動のきっかけ

仙台のマッサージ店 (株)高秀「ほぐれ〜」と、アロマセラピーを履修する「メディカルアロマセラピースクール仙台」のメンバーで震災後のボランティアを実施。

震災から2ヵ月余り、まずは家族と身近な友人たちの安否の確認と安全を確保することにエネルギーを使っていたが、一応の安全が確保できると、今度は、自分たちが「何かしたい。何が出来るだろう」と想いを募らせました。それを形にしたものが**マッサージボランティア**です。避難所を訪問し、被災者の方々にマッサージを提供しました。

■ 活動の方針/工夫など 事務局から現地への入り方を質問した際、猪股さんからの返信メール（2011/5/27）より転載
 ○現地への入り方はいろいろあると思います。避難所の状況によって、本当にマチマチです。以下、私の経験です。

- ① 知人、友人等、実際に避難所で生活している方から状況を伺う。
 - ・滞在者数
 - ・ライフラインの整備状況（フットバスを用意する際に、水とガスが必要なので）
 - ・被害状況（地域によって、被災の状況が違います。例えば、半数以上の方が家屋の全壊・半壊でも死亡者が少ないと、空気が明るいなど）
 - ・段ボールでの仕切りがあるかどうか（プライバシーが保たれるか）
 - ・足浴などを行う場所が確保できるか
 - ・役所の担当（ボランティアのまとめ役）が常駐しているか
 - ・担当者の連絡先（これがわかれば、話が早いです！）
- ② 私自身が教職員の経験があったので、元同僚つながりで現場と連絡をとってもらった。
 （学校が避難所になっている所が多いので、先生方はよくご存知です）
- ③主人が歯科医で、検死の作業にあたった際、現場にマッサージのニーズがあるかどうか確認してもらい、PRしてもらった。

①～③など、こうして、私がボランティア活動をさせていただけるのはやはり、50年間この地に住んで、何らかの形でつながりがあったからだだと思います。しかし、つながりがなくても、遠くからでも、外国からでも何かしらお手伝いしたいという方々の温かい思いを上手に実現できないものかと考えております。

○ボランティアを行う際の注意事項です。

- ・アロマオイルの使用に関しては、換気が十分なところで行わないと異臭と勘違いする方もいらっしゃいます。
- ・オイル塗布に関しては、入浴がままならない方には無理強いしない方がよさそうです。(ベタベタ感を嫌がる、肌が清潔でない事を恥じる)
- ・肌を露出するトリートメント系は、ある程度のプライバシーが確保できる所でないと抵抗を感じる。(足、手、顔など部分トリートメントであれば大丈夫)
- ・15分程度の短いマッサージは、会話もままならず満足度が低い。
- ・なでるだけ(軽擦法)のマッサージは、何か魔術(?)と勘違いされ、誤解のもとになる。
- ・被災地は、ほとんどが田舎で高齢者なので「アロマ」「トリートメント」「エッセンシャルオイル」など横文字が通じない。

現場には整体師、柔整師、カイロプラクター、お坊さん、牧師さんなどが、入れ替わり入っており、癒し(セラピー)系といっても活動内容の幅が広く、被災者の皆様が、十分理解できていないことが多いので臨機応変に対応できる事が最も望まれます。6回目の東松島市での活動は、元気をおくるアロマ隊につながる方からの要望に、「からだと心のほぐし隊」が応えてくださる形で実現しました。



※ 猪股さんがリーダーをされた「IFA心の絆プロジェクト」のボランティア募集に、アロマ隊も協力させていただきました。

<心の絆プロジェクト>

趣旨は、自ら被災者で、なおかつ住民に対してケア・サービスを提供している各自治体職員の心身のケア。極度のストレス、疲労にさらされている職員の方たちに、セラピストによるトリートメントを実施するものです。



<実施日時(2011年)>

- 7月23日・24日(南三陸町) ●7月30日・31日(宮古市)
- 8月20日・21日(石巻市) ★アロマ隊でも募集 ●8月27日・28日(相馬市) ★アロマ隊でも募集
- 8月3日・4日(陸前高田市) ★アロマ隊でも募集

申し込み締め切り:それぞれ実施日の1ヵ月前となります。

実施時間:10時～17時(1日5名 お一人60分)

- ※ IFAセラピストのボランティアを募集 ※ 仙台から5名1チームとして車で現地に向かいます。
- ※ 基本1泊2日のボランティアとなります。ただし、現地に直接集合出来る方は、1日の参加でも可能。
- ※ 精油を用いたアロマセラピートリートメントが主となりますが、場合によっては着衣の上からのマッサージになることもあります。
- ※ 費用はかかりませんが、食事代は自前となります。

管理進行:株式会社博報堂 後援:厚生労働省・日本赤十字・社団法人医師会・社団法人日本精神病院協会 協力団体:IFA

*元気をおくるアロマ隊登録メンバーの活動の一部を掲載しました。

アロマボランティア 寄付活動 …寄付によるサポート事例…

活動団体名	アロマルーム M
代表者 (居住地 / 職業)	前島 依子 (東京都 / アロマセラピスト・アロマルーム M 主宰)
主な活動場所・エリア	経営するサロン
活動時期	2011 年 3 月末～9 月
主な活動内容 / 対象者	期間中、東日本大震災チャリティーメニューおよび通常メニューの施術料を寄付としてプールし、10月にまとめて寄付を行った。 対象：サロンのお客様
URL など	http://aroma-m.jp/

■ 活動のきっかけ：

セラピストとして日々の活動で協力したいと思い、東日本大震災チャリティーメニューを設定。後日「元気をおくるアロマ隊」発足を知り、セラピストのボランティア活動に活かせることから寄付することにした。

東日本大震災チャリティーメニューと通常施術料の5～10%を寄付。2011年3月末より開始し、9月末までの46,500円を寄付した。

■ 活動の方針/工夫など：

通常メニューのほかに「東日本大震災チャリティーメニュー」を設定し、お客様自ら寄付に協力いただける様にした。

■ これからの活動目標や予定など：

今後も無理のない範囲で積み立てや、ボランティア活動を続けていきたい。

活動団体名	アロマで繋ごう！プロジェクト
代表者 (居住地 / 職業)	中林 里花 (神奈川県 / アロマセラピスト)
主な活動場所・エリア	横浜市港北区綱島
活動時期	2011 年 5 月～ 継続中
主な活動内容 / 対象者	2011/6/18 「アロマキャンドル講座」 2011/7/7 「Candle Night Live キャンドルで繋げナイト！」 2011/7/30 「アロマスプレー講座」 2011/9/24 「アロマセラピー占星学とアロマスプレーづくり」 2011/12/11 「1 Coin AID Fes.」 2012/3/11 「1 Coin AID Fes.」 2012/7/7 「Candle Night Live」キャンドルで繋げナイト！（第4弾）」
主な連携・協力先	オアフクラブ綱島、FATMAM、Blue Corn Cafe
URL など	http://ameblo.jp/aroma-hughug/



講習会でつくったスプレーとキャンドルは被災地に届けてもらいました。



「1 Coin AID Fes.」でのハンドトリートメント

活動団体名	土屋図形株式会社
代表者（居住地 / 職業）	土屋 しおり（神奈川県 / アロマインストラクター）
主な活動場所・エリア	神奈川県横浜市
活動時期	2012年3月～継続中
主な活動内容 / 対象者	エッセンシャルオイルの空き瓶をアンティーク風の一輪挿しに加工して 一つ100円でイベントなどで販売。売上の一部を寄付。 対象：イベント参加者（一般）
主な連携・協力先	RiverStone、NPO法人チルドリン、aromamoon アロマテラピーサロン苑香、アロマセラピーハウス Pure Drop
URL など	http://www.facebook.com/shiori.tsuchiya http://daisy30.exblog.jp

■ 活動詳細

- 2012/3/4（日）わかめまつり（静岡県熱海市 長浜海浜公園）
- 2012/3/11（日）復興震災イベント（横浜・石川町商店街）
- 2012/5/21（月）春のママまつり in 横浜（横浜・新都市ホール）
- 2012/6/1（金）、2（土）、3（日）横浜開港記念日 SALE（横浜・石川町商店街）
- 2012/6/16（土）、17（日）、18（月）花と癒しの三日間（横浜・石川町 River Stone）

■ 活動のきっかけ：

使用済みエッセンシャルオイルの空き瓶の使用方法をずっと考えていました。リサイクル、リユースでき、東北の支援にもなればと思いはじめました。

■ 活動の方針/工夫など：

イベントでの販売の際に、瓶の回収を行っています。

■ これからの活動目標や予定など：

今後も出来る範囲で、イベントやフリーマーケットなどでの販売を続けていきたい。

瓶がたくさん集まってきましたので、瓶の加工をするワークショップを開催したいと思っています。

■ 写真



5/21「ママまつり」会場の様子

アロマボランティア 支援活動 …その他によるサポート事例…

活動団体名	正プラス株式会社
担当者 (居住地 / 職業)	兼子 博将 (千葉県 / 正プラス株式会社営業統括)
活動時期	2011年3月～
主な活動内容 / 対象者	販売価格の20%が支援金になるチャリティーセットの販売 対象：一般
URL など	http://yuica.com/SHOP/801097/list.html

■ 活動のきっかけ：

アロマ商品を販売するメーカーとして、被災者へのアロマによるボランティアは大変重要であると考え、アロマボランティアを支援する「元気をおくるアロマ隊」への協力を実施。主に、オリジナルチャリティーセットを販売することで売り上げ金20%の支援と、告知協力を実施した。

■ 活動の方針/工夫など：

チャリティーセット販売の他、正プラス (yuica) のイベントなどでも告知、チラシの配布やポスターの掲示を実施し、幅広く一般へ告知できるように協力。

- 精油 2ml ヒノキ (木) セット 2,900 円
- 精油 2ml クロモジセット 4,200 円
- 精油 2ml ニオイコブシセット 7,500 円

チャリティーセットは価格差のある3種を用意し、顧客が選びやすいようにした。

売上合計 315,100 円 (内、63,020 円を寄付)

■ 写真



中日新聞 (2011年11月21日)

活動団体名	手当での輪応援ブログ
代表者 (居住地 / 職業)	浅野 里香 (埼玉県 / 編集者・森 café オーナー・気仙沼大島椿を育てる会事務局長)
主な活動場所・エリア	「手当の輪」の活動サポート（福島県、宮城県）
活動時期	2011年6月～継続中
主な活動内容 / 対象者	「手当での輪」のボランティア活動に同行して、施術以外に必要なサポートを行うほか、活動を記録し、ブログにアーカイブしている。さまざまな出会いや交流から生まれるつながりも大切にサポートを実施。
URL など	http://ameblo.jp/teatenowa/

■ 活動のきっかけ：

震災直後から始めた被災地への手作り菓子送付支援の継続を模索していたところ、「元気をおくるアロマ隊」の存在を知り、直接手渡すため「手当での輪」のアロマボランティアに同行。手作りのお菓子を手渡しにより配布した。「手当の輪」の活動の様子を記録する専用サイトがなかったことから、同行当初より「手当での輪応援ブログ」を立ち上げた。

■ 活動の方針/工夫など：

活動の様子が一目見てわかるよう、多くの写真を掲載するようにしている。なるべく早く情報を掲載するよう心がけている。同行できなかった場合でも、情報を収集し、「手当での輪応援ブログ」が活動のアーカイブ機能になるようにしている。

■ これからの活動目標や予定など：

今後も「手当での輪」の支援を続け、活動の状況を発信し続ける。

■ 写真



活動団体名	気仙沼大島の椿を育てる会
事務局代表 (居住地 / 職業)	浅野 里香 (埼玉県 / 編集者・森 café オーナー・気仙沼大島椿を育てる会事務局長)
活動時期	2012 年 4 月～継続中
主な活動内容 / 対象者	気仙沼大島の「椿オイル」の販売。 「気仙沼大島の椿を育てる会」の情報発信。
主な連携・協力先	椿屋食品
URL など	http://kesenuma-tsubaki.com/

■ 活動のきっかけ：

2011 年秋、伊豆大島の椿オイル製造会社である椿が、気仙沼大島の椿オイル製造会社の椿屋食品に搾油機を支援したことから、気仙沼大島が椿オイルを復興の旗印にしようとしていることを知る。2012 年 2 月、10 日間におよび、気仙沼大島椿オイルの PR とアロマ隊活動 PR を兼ねた「311 までの日常 311 からの活動」展で常駐スタッフを担う。2012 年 3 月気仙沼大島鎮魂ツアー参加。これらのことから、2012 年 4 月より、通信環境や人材などが不足している気仙沼大島の支援のため椿オイル販売を取りまとめることになった。

■ 活動の方針/工夫など：

Facebook における情報発信。「元気をおくるアロマ隊」との連携。復興イベントなどへの POP 類提供支援。

■ これからの活動目標や予定など：

ホームページ、ブログで情報を公開し、個人、イベントやサロンなどでの委託販売を増やしていくと同時に、現地の情報を発信していく。

■ 写真



「気仙沼大島の椿を育てる会」ホームページ



気仙沼大島椿オイル

* 気仙沼大島椿オイル販売サイト 「椿の森」

<http://profile.ameba.jp/tsubakinomori/>

活動団体名	積雲画廊イベント 「3月11日までの日常 3月11日からの活動」
代表者 (居住地 / 職業)	浅野 里香 (埼玉県 / 編集者・森 café オーナー・気仙沼大島の椿を育てる会事務局長)
主な活動場所・エリア	積雲画廊 (渋谷区神宮前 1-19-14)
活動時期	2012年2月15日～19日 2012年2月22日～26日
主な活動内容 / 対象者	・「気仙沼大島の椿を守る会」広報、椿オイル販売 ・「元気をおくるアロマ隊」広報、ハンドトリートメント ・市川勝弘写真展「日常」
主な連携・協力先	積雲画廊
URL など	http://ameblo.jp/teatenowa/entry-11233537906.html

■ 活動のきっかけ：

積雲画廊オーナーが「気仙沼大島の椿を育てる会」に共感して下さったことをきっかけに、画廊スペースの無償提供の申し出があり、「気仙沼大島の椿を育てる会」「元気をおくるアロマ隊」と写真家の市川勝弘さんの写真展「日常」(＝原発避難をしている福島県楢葉町の震災前10年の風景写真)の共同開催を行った。

■ 活動の方針/工夫など：

「元気をおくるアロマ隊」は元気アロマ・ネットで会期中のボランティアを募り、延べ約20人のセラピストによる気仙沼大島椿オイルでのワンコイン・トリートメントを実施。約250名の方にご来場いただき、ワンコイン・トリートメントの売上は、支援も含め60,800円となった。また、ワンコイン・トリートメントに使用した「気仙沼大島椿オイル」を販売し、10mlボトル200本が完売(80,000円)し、気仙沼大島椿オイルの告知につなげた。市川勝弘さんとアロマセラピストとの交流の輪が広がり、この後、3月24日に福島空港の「日常」展でもアロマボランティアを行った。

■ 写真



自立支援プロジェクト

活動団体名	がんばっぺ広野町！ じんわりほかほか ♥ 米ぬかホットパック 復興支援プロジェクト
代表者 (居住地 / 職業)	北川 朋美 (埼玉県 / アロマセラピスト・アロマテラピールーム「なちゅら」主宰)
主な活動場所・エリア	広野町仮設住宅 (福島県いわき市)
活動時期	2012年1月16日より受付開始～継続中
主な活動内容 / 対象者	広野町の女性グループがつくる「米ぬかホットパック」の販売支援
主な連携・協力先	ママSUNスマイル、手当ての輪、アロマテラピールームなちゅら 赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」
URL など	http://ameblo.jp/hironomachihukkoushien/

■ 活動のきっかけ：

震災後、福島県広野町から埼玉県三郷市に避難をされてきた被災者の方たちに定期的にボランティアマッサージをしてきたことから、仮設住宅に移られてからも定期的にボランティアを実施。初めは、被災者に「米ぬかホットパック」をプレゼントし、実際に利用してもらうことで商品の良さを知ってもらい、興味を持ってもらうことから始め、その後、広野町のみなさんの手作りによる「米ぬかホットパック」の販売支援を開始した。

■ 活動の方針/工夫など：

販売価格から支援金となる金額を明確にすることで、現地に行けない方やブログなどで知った方も安心して支援できるようにした。販売できる商品を作れるよう、現地で作り方講座を開いた。

■ これからの活動目標や予定など：

今後は「米ぬかホットパック」だけではなく、商品を増やすことで被災者の現金収入が少しでも安定するように、販売・広報の協力者を増やす。

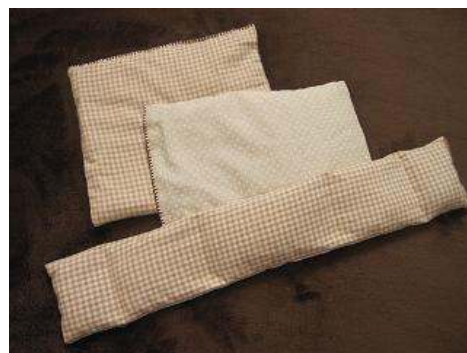
<価格>

各 1,500 円

☆スクエア型 (幅広い用途に使いやすい 20cm×25cm)

☆ロング型 (首や腰に巻いたりできる長細タイプ 10cm×60cm)

☆アイピロー (9cm×20cm) 2個セット



<支援金内訳>

1500 円のうち、ホットパック 1 個お買い上げいただくと→ **500 円の支援金**が製作者に届きます。

・材料費：500 円

・残りの 500 円：運営費として使用し余剰金は貯蓄して、まとまれば広野町の方へお渡しする。

活動団体名	アクリルたわし「I AM ♥ 愛 編むプロジェクト」
代表者 (居住地 / 職業)	齊藤 京子 (埼玉県 / アロマセラピスト・アロマテラピーサロン「MOANI」主宰)
主な活動場所・エリア	広野町仮設住宅（福島県いわき市）、宮城県気仙沼市
活動時期	2012年4月より受付開始～継続中
主な活動内容 / 対象者	広野町仮設住宅、宮城県気仙沼市でつくられたアクリルたわしの販売支援
主な連携・協力先	手当ての輪、アロマテラピーサロン&スクール モアニ、アロマテラピールームなちゅら、釣具「気仙沼河童堂」、居酒屋「元気百倍」（広野町）、 気仙沼「みーすけ」、アロマサロン「ほゆのり」、気仙沼大島の椿を育てる会、 若菜聡子（イラスト協力アロマセラピスト）、浅野里香（ジャーナリスト）、 ボンシクジャパンのラベンダー精油、ナチュラル・タッチのバスエッセンス
URL など	http://profile.ameba.jp/tawashiakuriru/

■ 活動のきっかけ

震災後、福島県広野町から埼玉県三郷市に避難をされてきた被災者の方たちに定期的にボランティアマッサージをしてきたことから、仮設住宅に移られてからも定期的にボランティアを実施。その後、広野町の女性たちがアクリルたわしを作り、ボランティアにプレゼントをしていたことから、それを販売につなげることを考案、販売支援を行う。

■ 活動の方針/工夫など

震災で家や職業を失った方々の思いやニーズを知るよう定期的に現地に出向き関わりを積極的にする。

統一した技術で商品販売に出来るように、まめに代表者との話し合いをする。一人でも多くの方が参加出来るように、製作量や収入に公平性を保つよう努める。

■ これからの活動目標や予定など：

アクリルたわしを手にした方が被災地の思いをしるきっかけとなり、震災を風化させない。いずれは現地の代表者が直接取引が出来るように指導し、長く継続した収入となるよう繋いでいきたい。

<価格>

気仙沼・椿 1個 230円（送料別）

福島・イチゴ 1個 200円（送料別）

<支援金内訳>

1個お買い上げいただくと → **1個 150円**が製作者に届きます。

※ 注文は30個からになります。



メディア掲載

● 「日経新聞/夕刊」 2011年5月21日



避難の現場から
「気持ち良い。避難所にいることを忘れちゃう」。森の香りが漂うアロマオイルでのマッサージは、2カ月以上に及ぶ避難所生活で疲れ切った被災者を癒癒(こころ)とした表情に変えていく。原発の事故で、福島県広野町の住民約200人が避難生活を送る。

避難所でマッサージを受ける鈴木木さん (18日、埼玉県三郷市)

懐かしい香り 心癒やす

埼玉県三郷市の一環沼市民センター。毎週水曜、アロマエッセンスの活動が、アロマエッセンスの森の香りがするアロマオイルの一部は、岐阜県高山市の家具工房「オークワイルド」代表、鈴木正さん(66)が無償提供。ヒノキやスギなどの木のエッセンスから抽出した、緑豊かな場所で育った被災者に親しみ深い香りが、被災者として避難生活の疲れを癒やす。マッサージを受けた木村真由美さん(40)は、「少しは返つたかしら」とこころ、セラピストの宮澤千明さん(41)は「喜びの言葉に、こころもパワーをもらえる。活動のリーダー、斎藤京子さん(39)も、夜の香りには鎮静効果があり、懐かしい気持ちを呼び起こして、こころ」と話す。斎藤さんらは、1月「元気をあおくるアロマ隊」を立ち上げ、被災者への思いの長い支援を続けるため、募金などの協力を呼び掛けている。

● 「クロワッサン 810号」(マガジンハウス) 掲載 (2011年7月25日発売)



croissant 810

食べて癒せる、夏ダイエツ

暑熱に慣れたい

アロマの香りと手のぬくもりで被災者の心と体をやわらげたい。管理栄養士の森の香りが

● 「セラピスト 2011年8月号」(BABジャパン) 掲載




セラピスト

一人でも避難者がいる限り！ 広がる「手当の輪」

被災地支援活動の現場から

● 「アロマトピア(aromatopia) No.108」(フレグランスジャーナル社) 掲載 (2011年09月25日発売) 執筆 樋渡 志のぶ



被災地支援活動の現場から

被災地支援活動の現場から

被災地支援活動の現場から

- 「アロマトピア(aromatopia) No.109」(フレグランスジャーナル社) 掲載
(2011年11月25日発売) 執筆 川島 尚子



- アロマセラピー・タイムズ日本語版 (2011年秋号) 執筆 守内 尚子



- 「セラピスト2012年4月号」(BABジャパン) 掲載
執筆 樋渡 志のぶ



- 「MOC2 いのちは 生きるほうへ 向かう」(MOCプロジェクト) 掲載
(2011年10月11日発行)



- ★NHK 総合
ニュース首都圏ネットワーク
2011年8月5日(金) 18:10~50
2012年2月7日(火) 10:52~55
- ★MX テレビ
気仙沼大島橋応援ツアー
~ MXテレビ ニュース枠~
2012年4月5日(木) 18:00~

元気をおくるアロマ隊 基本情報

○共同代表○

- 川島 尚子 (アロマセラピーサロン「パチュリ」主宰)
齊藤 京子 (アロマセラピーサロン「MOANI」主宰)
樋渡 志のぶ (アロマセラピーサロン「クブクブ」主宰)
矢田 薫 (アロマセラピーサロン「Engel Liebe」主宰)
事務局代表 守内 尚子 (MOCプロジェクト)

○所在地・連絡先○

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-3-7 青山 N-ブリックビル 3F MOCプロジェクト内
E-mail : genkiaroma2011@gmail.com FAX : 03-3499-0547

元気アロマ・ネット : <http://genkiaroma.blog90.fc2.com/>

Facebook : <http://www.facebook.com/#!/genkiaroma>

Twitter : @genkiaromanet

○寄付受付口座○

◎三菱東京 UFJ 銀行 渋谷明治通支店 (普通) 3129231

口座名義 : 元気をおくるアロマ隊実行委員会 代表 守内尚子

◎ゆうちょ銀行振替口座 00100-1-789791

口座名 : 元気をおくるアロマ隊実行委員会

*他行等からのお振り込みの場合 : 店名 019 当座 0789791

★ 本報告書へのご意見・ご感想をお寄せください。

元気をおくるアロマ隊 活動報告書
2012年7月発行

